



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 日本電子株式会社

コード番号 6951 URL <http://www.jeol.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗原 権右衛門

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営戦略室長 (氏名) 大井 泉

四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 TEL 042(543)1111

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

平成26年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	38,698	0.7	△1,961	—	△1,696	—	△2,246	—
26年3月期第2四半期	38,437	10.0	△234	—	△2,091	—	△2,231	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △1,403百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △769百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△25.28	—
26年3月期第2四半期	△29.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	102,961	24,874	24.2	257.41
26年3月期	111,452	28,791	25.8	276.72

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 24,874百万円 26年3月期 28,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
27年3月期	—	2.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	0.7	4,000	△33.6	3,500	4.8	2,600	△34.7	26.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	97,715,600 株	26年3月期	97,715,600 株
27年3月期2Q	1,080,320 株	26年3月期	1,078,538 株
27年3月期2Q	96,636,154 株	26年3月期2Q	78,288,403 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、当社の取り巻く経済環境、市場の動向、為替レートの変動など、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成26年11月28日(金)に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。第2四半期決算補足説明資料は、第2四半期決算説明会開催日後に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済状況は、欧州での地政学的リスクの影響、新興国経済の減速等の不安要素はあるものの、米国景気の回復や、国内における金融緩和策等による円高の是正や株価の上昇等により、概ね景気は緩やかに回復しつつあります。

このような状況下、当社グループは中期経営計画「Dynamic Vision」(平成25年度～平成27年度)に掲げる重点戦略を強力に推進し、企業価値の向上および経営基盤の強化を図るとともに受注・売上の確保に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は38,698百万円(前年同期比0.7%増)となりました。損益面においては、営業損失は1,961百万円(前年同期は営業損失234百万円)、経常損失は1,696百万円(前年同期は経常損失2,091百万円)、四半期純損失は2,246百万円(前年同期は四半期純損失2,231百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 理科学・計測機器事業

電子顕微鏡への引合いは引き続き好調であり、材料・医学・生物分野における開発研究から品質管理等の幅広い分野からの要求に応えました。特に透過電子顕微鏡の需要は旺盛で市場での高い評価が受注に寄与しました。

この結果、当事業の売上高は26,966百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

② 産業機器事業

電子ビーム描画装置および電子ビーム蒸着用電子銃・電源の売上は堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は4,228百万円(前年同期比6.2%増)となりました。

③ 医用機器事業

国内および海外(主にOEM供給先であるシーメンス向け)の売上は堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は7,503百万円(前年同期比3.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から8,490百万円減少し102,961百万円となりました。主なものとしては、受取手形及び売掛金が16,030百万円減少し、たな卸資産が4,612百万円増加しております。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から4,573百万円減少し78,086百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,344百万円減少および短期借入金が2,912百万円減少によるものであります。

一方、当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、資本剰余金および利益剰余金の減少に伴い24,874百万円となりました。以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末から1.6%減少し24.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、9,721百万円となり、前連結会計年度末より2,081百万円増加しております。

なお、当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金の増加は8,319百万円(前年同期は1,958百万円の資金の増加)となりました。これは主にたな卸資産の増加があったものの売上債権の減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金の減少は1,271百万円(前年同期は770百万円の資金の減少)となりました。これは主に投資有価証券取得による支出および固定資産の取得による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金の減少は5,163百万円(前年同期は1,208百万円の資金の減少)となりました。これは主に短期借入金の減少および自己株式の取得による支出等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表しました業績予想に変更はございません。

なお、当社の売上・利益は第4四半期に集中する傾向があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の給付見込期間および給付見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債および利益剰余金に与える影響は、軽微であります。また、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失および税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,027	10,035
受取手形及び売掛金	34,222	18,192
商品及び製品	11,830	12,136
仕掛品	21,264	25,660
原材料及び貯蔵品	2,003	1,912
その他	4,517	5,218
貸倒引当金	△183	△162
流動資産合計	81,682	72,994
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,593	5,564
機械装置及び運搬具（純額）	619	611
工具、器具及び備品（純額）	2,643	2,442
土地	1,846	1,866
リース資産（純額）	1,475	1,237
建設仮勘定	789	876
有形固定資産合計	12,968	12,598
無形固定資産		
のれん	3,606	3,421
その他	1,210	1,015
無形固定資産合計	4,817	4,436
投資その他の資産		
投資有価証券	7,899	9,436
その他	4,052	3,478
貸倒引当金	△42	△42
投資その他の資産合計	11,909	12,872
固定資産合計	29,694	29,908
繰延資産	74	58
資産合計	111,452	102,961

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,578	16,234
短期借入金	19,998	17,086
1年内償還予定の社債	760	460
未払法人税等	782	379
賞与引当金	1,005	1,521
その他	15,893	15,113
流動負債合計	56,018	50,794
固定負債		
社債	960	730
長期借入金	12,748	13,826
役員退職慰労引当金	196	192
退職給付に係る負債	10,554	10,603
資産除去債務	149	192
その他	2,033	1,747
固定負債合計	26,642	27,292
負債合計	82,660	78,086
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,037	10,037
資本剰余金	11,582	9,386
利益剰余金	9,017	6,454
自己株式	△533	△534
株主資本合計	30,103	25,343
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,021	2,703
為替換算調整勘定	△832	△737
退職給付に係る調整累計額	△2,500	△2,435
その他の包括利益累計額合計	△1,312	△469
純資産合計	28,791	24,874
負債純資産合計	111,452	102,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	38,437	38,698
売上原価	25,409	25,004
売上総利益	13,028	13,693
販売費及び一般管理費		
研究開発費	2,244	2,915
その他	11,018	12,739
販売費及び一般管理費合計	13,262	15,655
営業損失(△)	△234	△1,961
営業外収益		
受取利息	20	29
受取配当金	33	41
受託研究収入	8	50
持分法による投資利益	—	86
貸倒引当金戻入額	12	22
為替差益	—	305
その他	135	163
営業外収益合計	210	698
営業外費用		
支払利息	269	232
売上債権売却損	106	98
持分法による投資損失	46	—
為替差損	1,508	—
その他	137	101
営業外費用合計	2,067	432
経常損失(△)	△2,091	△1,696
特別利益		
固定資産売却益	4	2
その他	2	1
特別利益合計	6	3
特別損失		
固定資産売却損	7	0
固定資産除却損	15	48
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	25	49
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,110	△1,741
法人税、住民税及び事業税	427	449
法人税等調整額	△306	55
法人税等合計	121	504
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,231	△2,246
四半期純損失(△)	△2,231	△2,246

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△2,231	△2,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	506	682
繰延ヘッジ損益	449	—
為替換算調整勘定	332	159
退職給付に係る調整額	—	65
持分法適用会社に対する持分相当額	172	△64
その他の包括利益合計	1,462	843
四半期包括利益	△769	△1,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△769	△1,403
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,110	△1,741
減価償却費	1,174	1,289
のれん償却額	—	184
賞与引当金の増減額(△は減少)	673	514
退職給付引当金の増減額(△は減少)	214	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	269
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△12	△4
固定資産除売却損益(△は益)	18	47
投資有価証券評価損益(△は益)	2	—
受取利息及び受取配当金	△54	△70
支払利息	269	232
売上債権売却損	106	98
売上債権の増減額(△は増加)	6,937	16,133
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,147	△4,267
仕入債務の増減額(△は減少)	15	△1,464
その他	△1,323	△1,873
小計	2,765	9,349
利息及び配当金の受取額	60	76
利息の支払額	△277	△227
売上債権売却による支払額	△106	△98
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△483	△780
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,958	8,319
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△618	△672
有形固定資産の売却による収入	51	2
無形固定資産の取得による支出	△99	△65
投資有価証券の取得による支出	—	△551
その他	△103	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△770	△1,271
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△846	△3,081
長期借入れによる収入	4,500	3,000
長期借入金の返済による支出	△2,317	△1,752
社債の償還による支出	△885	△530
自己株式の取得による支出	△1,062	△2,196
配当金の支払額	△266	△291
その他	△330	△310
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,208	△5,163
現金及び現金同等物に係る換算差額	245	197
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	225	2,081
現金及び現金同等物の期首残高	5,158	7,640
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,384	9,721

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年5月13日開催の取締役会において、第1種優先株式の全部を取得すること、および取得した第1種優先株式の全部につき消却を行うことを決議いたしました。

上記決議に基づき、当社は平成26年5月30日付で第1種優先株式の全部を取得し、これを全部消却しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が2,196百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が9,386百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	理科学・計測 機器事業	産業機器事業	医用機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,691	3,983	7,763	38,437	—	38,437
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	26,691	3,983	7,763	38,437	—	38,437
セグメント利益又は損失 (△)	263	764	418	1,447	△1,681	△234

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△1,681百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,681百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	理科学・計測 機器事業	産業機器事業	医用機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,966	4,228	7,503	38,698	—	38,698
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	26,966	4,228	7,503	38,698	—	38,698
セグメント利益又は損失 (△)	△1,062	85	899	△76	△1,884	△1,961

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△1,884百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,884百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。